

信州の自然とともに生きる 地震と火山の防災地学

長野県では昨年は多くの災害に見舞われました。7月9日の南木曽土石流、9月27日の御嶽山の水蒸気爆発、そして11月22日の長野県神城断層地震。このような状況で、あらためて私たちの住む長野県の成り立ちと地質学的特徴を理解し、より安全な市民生活を送る一助となることを願って、標記のような講演を企画いたしました。

講師は長年信州大学でそれぞれ活火山と地震の研究に携わってこられたお二人です。御嶽山を含む長野県の活火山の分布とそれらの活動の“癖”や、県内の地震発生と活断層との関係や震災について、やさしく詳しく解説します。さらに、これらをふまえた防災・減災の面からの提案をもとに、市民のみなさんにも参加していただいて議論を深めていく予定です。

2015 9.12 土

時間：14:30～16:00

会場：ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

小ホール（長野県長野市若里1-1-3）

入場
無料

事前申込
不要

講演予定：

「信州の火山を知ろう」三宅康幸（信州大学理学部教授）

「糸静構造線活断層地震が起きたとき、長野盆地・松本盆地の震災は」
塚原弘昭（信州大学名誉教授）

※本講演会は、平成27年度科学研究費（研究成果公開促進費）による助成事業です。

日本地質学会第122年学術大会（長野大会）

2015年9月11日（金）～13日（日） 会場：信州大学（工学）キャンパスほか

一般社団法人 日本地質学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-8-15 井桁ビル6F 電話：03-5823-1150 <http://www.geosociety.jp>